

環境と健康

専門研修と体験交流研修を合同で開催 府中市で防災をテーマに開催

2月26日、公衛協活動に資するテーマを専門的に学ぶ「専門研修」と、公衛協相互の情報交換の場である「体験交流会」開催のきっかけづくりを目的とした「体験交流研修」を府中市で同時開催し、12公衛協から40人が参加しました。

今回の研修会では、午前中に有事の際に役立つ知識を習得する「専門研修」を、午後からは避難所設営の経験があり、自主防災会と連携した防災活動を実施している府中市第二木野山公衆衛生推進委員会の活動紹介と意見交換を行いました。

専門研修

「専門研修」では、寒い時期に災害にあった場合、どうやって「防寒・保温」をすればよいのか、どんな道具が役に

体験交流研修

午後からは「体験交流研修」として、府中市第二木野山公衆衛生推進委員会の下会長、第二木野山地区での防災活動を紹介いただきました。

立つかなどについて地域支援課職員が講義を行いました。その後、アルミブランケットやカイロなど、保温をするための道具が実際にどのくらい暖かいのかを確認しました。アルミブランケットが意外と暖かいこと、防寒具として市販されているさまざまなグッズも試すことができ、参加者は大変満足していました。また、これまで当協会が実施してきた専門研修のメニュー(簡易トイレ、消毒など)の講義内容を紹介します、各地区で学習会を開催する際のヒントを提供しました。



保温・加温グッズの紹介(上)、ランダムにさまざまなアルミブランケットを配り、温かさや音などの使用感を体験(下)



二木野山地区は、平成22年の豪雨災害で避難所を設置した経験があり、その時の苦労話や現在の防災活動をお話いただきました。第二木野山地区では毎年、地区で



下会長による防災事例の紹介(上)、防災倉庫の見学(中)、グループごとに参加者同士で意見交換(下)

所有する防災グッズをリスト化し、全戸配布して共有しています。また、消毒のさまざまなグッズを保有するとともに、消毒の仕方の研修会を毎年開催し、消毒液を日常的に使えるよう工夫をされています。特に推進委員が2年で交代すること

「学」習メニューが参考になった」「どの地域も人材不足、高齢化が大きな問題となっている」「短い時間でも研修してもらえると、消毒の仕方の研修会を開催したい」など、協のニーズ(研修時間、

地域支援課では、令和8年度も体験交流研修を企画・実施します。また、専門研修は、研修会を開催したい公衛協のニーズ(研修時間、

日時、場所、テーマなどに応じて開催する「オーダーメイド研修」に生まれ変わります。他の公衛協の好事例を学び、我が公衛協の活性化のための研修会を開催してはいかがでしょうか。(地域活動支援センター)

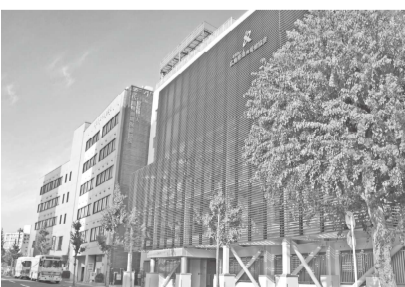
琴線歌

きんせんか 琴線歌
気づくと、お風呂場の隅に「すすり」と黒い影…。そんな経験はありませんか。暖かくなり、梅雨が近づくとこの時期は、カビが「気」に元気になる季節です。掃除の回数も増え、少し気が重くなる方も多いのではないのでしょうか。カビという、どうしても厄介者のイメージが先に立ちますが、実は地球にとって

暮らしとカビ

動物の遺体をゆっくり分解し、再び土へと戻す役割を担っています。自然界の中では、なくてはならない働きをしているのです。その力は、私たちの暮らしにも深く関わっています。日本酒や味噌、しょうゆ、チーズ、鰹節などの食品づくりに使われているほか、抗生物質や有機酸といった医薬品や工業の分野でも活用されています。知らないうちに、

私たちは日々カビの恩恵を受けて暮らしているのです。とはいえ、家の中ではできれば遠慮してほしい存在でもありません。ここには生きてほしくないけれど、役立つところではしっかりと働いてほしい…そんな気持ちになるのも自然なことですよ。カビと向き合おうとすると、その性質を知ることが大切です。空気中のカビの胞子が付着して育つには、酸素、水分、温度、栄養分の4つの条件がそろって必要があります。つまり、どれか一つを減らすだけでも、発生を抑えることができます。乾燥させる、冷やす(冷凍する)、真空パックにするなど。少し意識するだけで、暮らしの中のカビ対策は変わってきます。まずは身近なところから、気軽に試してみませんか。(NPO法人カビ相談センター)



一般財団法人 ~みんなの生命をまもりつづけて~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念 みんなの生命(いのち)をまもりつづけて。私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。





②大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

一人一人の「気づき」を大切に フリーマーケットやアンケートを実施

令和8年2月14日・15日、大崎上島町で『すみれ祭り』が開催されました。春の訪れを感じさせるような、ほかほかとした陽気に恵まれ、会場はたくさんの来場者でにぎわいました。

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会は、資源活用フリーマーケットと食品ロス削減の啓発活動、地球温暖化防止に関するアンケートを実施しました。

フリーマーケットは平成29年から、地域の恒例行事として続けています。家庭で眠っている食器や鞆などの品物を持ち寄り、必

要としている人へ販売しています。売り上げはすべて社会福祉協議会へ寄付し、地域のさまざまな活動に役立てられています。

食品ロス削減の啓発活動は、今年が初めての取り組みでした。会場では、「過去一週間に捨ててしまった食べ物」をテーマにシールアンケートを実施しました。結果は、野菜、果物、弁当・そうざいの順に廃棄が多いことが分かりました。一方で、「何も捨てていない」と答えた人も多く、日ごろから食べ物を大切にしていることが伺えました。

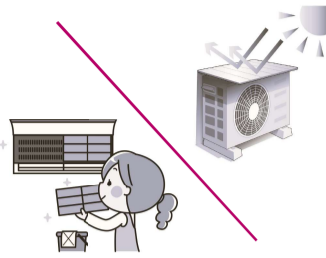
地球温暖化防止に関するアンケートには、約250人にご協力いただきました。「暖かい服装を心がけ、暖房の温度設定を適切にしていますか?」という問いに対しては、約93%の人が「はい」と回答しました。多くの住民が、日頃から環境に配慮した暮らしを実践していることがわかりました。

梅澤代表の「一人一人がエネルギーの無駄を省くことの大切さに気づき、無駄を減らすことが大切」という言葉が印象的でした。

(脱温暖化センターひろしま)



地球温暖化防止に関するアンケートに答える来場者と会話する梅澤代表



熱中症予防のためには、エアコンの活用が有効です。経済産業省では、家庭における熱中症を予防するため、

お得なエアコン運転のコツ

試運転も忘れずに

本格的な夏季を迎える前に、早めにエアコンの試運転を行うことを推奨しています。暑くなるとエアコンを動かしてみたら、「調子が悪い」「故障していた」とならないよう、早めに点検をしましょう。家庭用のエアコンは、約11〜13年が寿命で買い換えられています。古いエアコンを使っている場合は、特に注意が必要です。エアコン試運転の方法は、運転モードを「冷房」にし、最低温度、最大風量で30分運転します。試運転で冷風が出なかったり、嫌な臭いや水漏れがある場合は使用を中止し、エアコンを購入した販売店などに相談してください。

試運転をする前は、フィルターのほこりを掃除機で吸い取りましょう。汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰で乾かします。また、室外機の周りも確認しましょう。吹き出し口を物で置き、冷房の効果下がります。室外機に直射日光が当たると、室外機が温まり冷房効果が低下するので、日陰を作る工夫をすることで省エネに繋がります。エアコンを使い始めたら、フィルターやフィン(エアコンのカバー

を開けた時に見える長い金属製の羽のような部分)は2週間に1度、お手入れをしましょう。きれいに保つことで、エアコンが余分な電気を使わずにスムーズに運転でき、節電になります。冷房の場合、温度を1度下げると、風量を増やす方が省エネです。また、エアコンは運転を開始した直後の消費電力が大きいので、日中は30分程度の外出であればエアコンをつけたままにする方が、お得な運転ができます。(脱温暖化センターひろしま)

海洋ごみ問題を学ぶテキスト作成に協力

一般社団法人瀬戸内プロジェクト in 広島が発行する小学生向けの環境学習教材「名産カキが育つ豊かな海ってどんな海?」の作成に、当協会が協力しました。本教材は、広島海について学習した中学生が内容を考えており、当協会は掲載内容の助言をはじめとした全体のコーディネートを行いました。

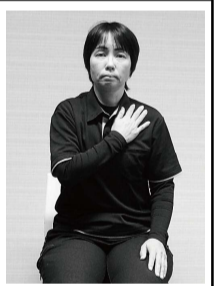
作成された教材は、2月14日・15日に開催された「広島城オイスターフェス2026」で配布されたほか、小学生向けの環境講座などで活用される予定です。

本テキストが、若い世代の環境保全意識の向上につながることを期待します。

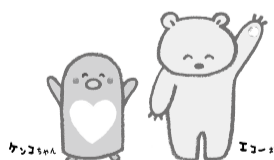


②手のひらで疲労回復

手のひらをしっかり体(肌)に密着させて、いろいろなところをさすってみましょう。さすることで皮膚温度が上がり、血流が良くなります。肩回りや肋骨、腰、背中、股関節、足の内側・外側など、気になるところをさすみましょう。



令和7年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和7年度で66回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円) **43,357,020円** (令和7年度年間実績)

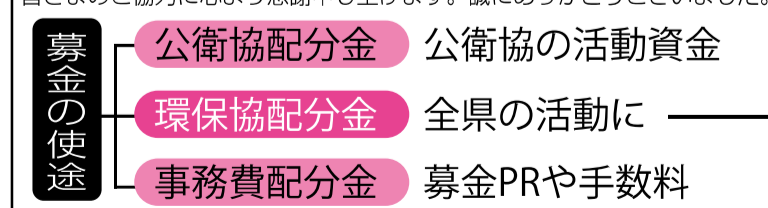


市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,453,450	109.0
海田町	1,682,341	84.6
熊野町	1,411,200	106.5
坂町	323,481	102.3
江田島市	1,573,750	98.0
竹原市	1,463,000	97.9
大崎上島町	279,700	99.0
大竹市	2,220,370	98.1
廿日市市	3,224,131	99.1
廿日市市大野	2,389,678	94.9
廿日市市佐伯	269,865	83.6
廿日市市吉和	39,100	94.7
廿日市市宮島	176,200	94.8
安芸太田町	626,150	98.7

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	975,970	97.4
安芸高田市	1,893,649	106.6
東広島市	3,882,699	95.5
三原市	1,262,128	86.9
世羅町	737,580	100.6
尾道市	4,064,082	97.6
福山市	8,016,080	96.3
府中市	981,290	97.9
神石高原町	283,400	97.3
三次市	1,956,601	114.0
庄原市	2,110,672	96.4
その他	60,453	99.9
合計	43,357,020	97.8

市町別一覧表

皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



県内公衛協の活動支援に活用
・広島県公衆衛生大会
・推進委員養成に係る各種研修会
・全県共通事業重点メニュー
・公衆衛生推進手帖の作成
・脱温暖化のまちづくり
・学習教材の作成や貸出 など

※この表は、各市町公衛協の令和7年度年間実績額を記載しています。ご協力ありがとうございました。